

# 政界への雄飛

原敬 100回忌  
特別企画展(後編)

2021.10.30 SAT  
— 2022.1.23 SUN  
会場／原敬記念館 小ホール 企画展示コーナー

開館時間／9時～17時(入館は16時30分まで)  
休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)  
入館料／一般200円(団体120円)、小・中学生50円(団体30円)、  
団体料金は30人以上の団体に適用します。

お問い合わせ／原敬記念館(指定管理 公益財団法人盛岡市文化振興事業団)

〒020-0866 岩手県盛岡市本宮4丁目38-25

TEL 019-636-1192 FAX 019-636-1185

主催／原敬記念館(所管:盛岡市教育委員会)、

公益財団法人盛岡市文化振興事業団、

原敬100回忌記念事業実行委員会

共催／原敬を想う会

原

敬



# 政界への 雄飛の

(後編)

原敬100回忌 特別企画展

原

敬

令和2年(2020)は原敬の100回忌にあたります。そこで当館では平成30年度より「原敬100回忌記念事業実行委員会」と共に様々な記念事業を計画、準備を進めて参りました。この特別企画展は、同事業の一環として、広く原敬の業績や生涯を紹介するものです。後編では主に政治家として活躍した後半生を採り上げます。なお、この展示は当初、令和2年度に開催する予定でしたが、covid-19の感染拡大により、今年度に延期となりました。

●関連イベント 担当学芸員による展示解説  
日時／令和3年11月20日(土)、12月18日(土)、  
令和4年1月23日(日) いずれも13:30～14:15  
開催日2週間前の10:00から電話にて受付(先着10人)



岩手初公開

原敬書「寶積」(自由民主党本部蔵)  
晩年の原が好んで書にした言葉で、仏教の経典『宝積経』に  
よる。意味は「人に尽くして見返りを求めない」。



原敬遭難時着用の服  
(当館蔵)

大正10年(1921)11月4  
日、東京駅で暗殺された時  
に着ていた洋服。血液  
の跡が今も残る。



「原敬日記」原本  
附絶筆メモ4枚・本箱1台(当館蔵)

19歳から65歳までつけていた日記。全83冊。  
日本近代政治史の一級資料として知られる。  
岩手県指定有形文化財。

## 原 敬 | 1856-1921

安政3年(1856)2月9日、岩手郡  
本宮村に生まれる。盛岡藩士・原  
直治の二男。藩校・作人館に学  
び上京、司法省法学校、郵便報  
知新聞記者等を経て外務省に入  
る。やがて政界へ進出、内務大臣  
等を経て第19代内閣総理大臣と  
なった。日本初の本格的政党内閣  
を組織した「平民宰相」として支  
持を集めたが、大正10年(1921)  
11月4日、東京駅にて兇刃に倒れ  
た。享年65歳。



原敬遺書(原敬文書研究会蔵)

大正10年(1921)年2月20日付。死を覚悟して国政に臨んでいた原  
が家族に遺したもの。虚飾を嫌うといった原の人格がよく表れている。

(公財)盛岡市文化振興事業団からのお知らせ

●石川啄木記念館  
第15回企画展「啄木と鉄道」  
2021年9月28日(火)～令和4年1月23日(日)

●盛岡市先人記念館  
第64回企画展「杉村濬・陽太郎 日本と世界をつないだ外交官」  
2021年9月11日(土)～12月5日(日)

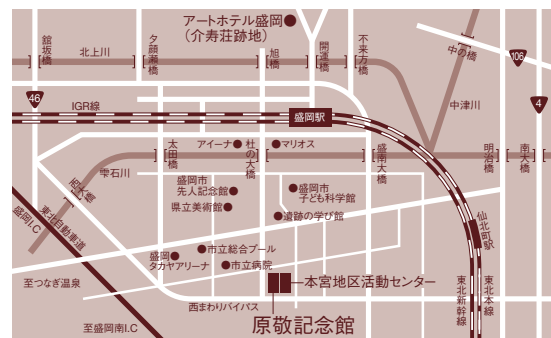
利用案内 開館時間／9:00～17:00(入館は16:30まで)  
休館日／毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)、年末年始(12月29日(水)～1月3日(月))  
入館料／一般200円(団体120円)、小・中学生50円(団体30円)  
団体料金は30人以上の団体に適用します。

指定管理  
公益財団法人盛岡市文化振興事業団  
**原敬記念館**

〒020-0866  
岩手県盛岡市本宮4丁目38-25  
TEL 019-636-1192  
FAX 019-636-1185



ご来館の際は、マスクの着用・手指の消毒など  
covid-19対策にご協力をお願い致します。なお、感  
染症の拡大状況によっては本展および関連イベン  
トが中止・変更となる場合もあります。当館のウェブ  
サイトやSNSにて最新の情報をご確認下さい。



交通アクセス  
バス／①「原敬記念館前」下車  
・盛岡駅発着 盛南ループ200  
・矢巾営業所行 本宮線・羽場線  
タクシー／盛岡駅より約5分  
②「もといち泉公園前」下車徒歩5分  
・イオンモール盛岡南線